

第9回 白山検定 通常コース 正答表

【1】霊峰白山や白山市の自然に関する問題です。以下の文章を読んで、かっこ内に入る適切な語句を選びなさい。

(1) 白山の火山体は、活動時期からみて古い順に加賀室火山(30～40万年前)、()火山(約10万年前)、新白山火山(3、4万年前)、うぐいす平火山(3、4万年前)に分けられる。

- ① 旧白山 ② 古白山 ③ 前白山 ④ 元白山

(2) 白山を最高峰とする山系は、北は石川・富山県境の医王山から南は福井・岐阜県境の能郷白山などの山々に連なり、正式には()と呼ばれる。

- ① 白山山地 ② 南北白山山地 ③ 加飛越山地 ④ 両白山地

(3) ブナ林などが広がる山地帯と高山植物が生育する高山帯の間を「亜高山帯」といい、白山ではアオモリトドマツとも呼ばれる針葉樹の()が主要な樹木となっている。

- ① オオシラビソ ② カラマツ ③ コメツガ ④ ヒノキ

(4) 白山を源流とする河川は多く、手取川や庄川のほか()も白山山系を源流としている。

- ① 揖斐川 ② 黒部川 ③ 木曾川 ④ 長良川

(5) 2025(令和7)年12月10日、白山の()山頂で、仏教の経典などを埋めた経塚が見つかり、鎌倉時代初期に、白山の主峰部で経典を埋める「埋経供養」が実施されていたことが初めて確認された。

- ① 大汝峰 ② 御前峰 ③ 七倉山 ④ 四塚山

(6) 平安時代中期に清少納言が書いた随筆「枕草子」には、庭に作った雪の山が解けて消えないように白山の()に祈ったと書かれている。

- ① 阿弥陀仏 ② 観音 ③ 地藏 ④ 大日如来

(7) 高温の火山ガスと多量の火山灰、軽石などが混然一体となって高速度で流下してくる現象を()と言い、1554～1556(天文23～弘治2)年の白山噴火の際にも起きたと考えられる。

- ① 溶岩流 ② 土石流 ③ 火砕流 ④ 融雪型火山泥流

(8) 千蛇ヶ池雪渓のように、晩秋まで雪が解けないで、その上に次の冬の雪が積もることで比較的長い期間存在する雪を()という。

- ① 雪形 ② 班雪 ③ 雪庇 ④ 越年雪渓

(9) 手取川上流にある「百万貫の岩」は、1934(昭和9)年の大洪水で流されてきたものであるが、2024(令和6)年に行った「手取川環境総合調査」で、流出元は手取川支流の()であることがほぼ特定された。

- ① 大杉谷川 ② 大日川 ③ 三ツ谷川 ④ 宮谷川

(10) 冬季には、日本海を流れる()から供給される水蒸気を大量に含んだ北西の季節風が白山に衝突することで、白山ろくに大量の雪が降る。

- ① 日本海流 ② 千島海流 ③ 対馬海流 ④ リマン海流

(11) 古くから白山の3つの峰には神仏がまつられ、三所権現とも称されたが、その三峰とは御前峰、大汝峰、()である。

- ① 剣ヶ峰 ② 別山 ③ 白山釈迦岳 ④ 三ノ峰

(12) 2025(令和7)年は全国的にクマの出没が相次ぎ、白山市では県内最多の目撃情報があったが、その原因は秋の主要な餌である()の実が大凶作であったことに加え、過疎・高齢化の進行などによるクマの分布域拡大や個体数の増加も指摘されている。

- ① アベマキ ② クマイチゴ ③ ブナ ④ ヤマザクラ

(13) 市内は良質の地下水や湧き水に恵まれ、環境省が選定した「名水百選」の「()」や「平成の名水百選」の「白山美川伏流水群」がある。

- ① 弘法池の水 ② おぼく水 ③ 杉森の地蔵水 ④ 神子清水

(14) 白山に登ると観光新道の殿ヶ池から黒ボコ岩、南竜ヶ馬場から別山付近のいずれも標高2000～2400メートルの草原で()がよく見られる。

- ① ギフチョウ ② ミヤマカラスアゲハ
③ タカネヒカゲ ④ ベニヒカゲ

(15) 富山城主・佐々成政にまつわる伝説の中に「呪いの花」として登場する()は、白山には比較的豊富に見られ、登山者に人気の花である。

- ① ハクサンコザクラ ② ニッコウキスゲ
③ ハクサンシャクナゲ ④ クロユリ

(16) 手取川の河床で見られる「玉石」は、()という岩石である。

- ① 月長石 ② 正珪石 ③ 大理石 ④ 橄欖石

(17) 白山に登ると、登山道脇にハイマツなどの松ぼっくりの破片が集まっているのを見ることがある。これは、()がハイマツの種子を食べた跡である。

- ① ライチョウ ② イワヒバリ ③ ホシガラス ④ カヤクグリ

(18) 体長5～6センチの小さな魚で、地元美川では「はりんこ」と呼ぶトミヨは、県の絶滅危惧種I類で、きれいな水に住む。今も手取川の伏流水を水源とする()川で生息が確認されている。

- ① 比良瀬 ② 蝶屋 ③ 安産 ④ 湊

(19) 北陸鉄道石川線は2026(令和8)年から愛称を「()」と名付け、金沢市と鶴来地域をつなぐ路線として、利用促進などにつなげる。

- ① ジオパークトレイン ② 白山ジオパークライン
③ 白山手取川ジオパーク線 ④ 白山手取川ジオパークライン

(20) 石川県鳥であるイヌワシは、白山地域の深い谷をなわばりとしており、主な餌はヤマドリやノウサギのほか、()が多いことが分かっている。

- ① アオダイショウなどヘビ類 ② カケスなど中～小型鳥類
③ イワナ ④ カモシカの幼獣

【2】 白山市の歴史に関する問題です。以下の文章を読んで、かっこ内に入る適切な語句を選びなさい。

(21) 縄文遺跡である()、舟岡山遺跡、白山上野遺跡は市指定史跡となっている。

- ① 御経塚遺跡 ② 上荒屋遺跡 ③ 吉野ノミタニ遺跡 ④ 竹松遺跡

(22) 平安時代に東大寺領であった横江荘は、南北朝時代(14世紀ごろ)には、京都の禅宗寺院()の所領となっていた。

- ① 南禅寺 ② 天龍寺 ③ 東福寺 ④ 建仁寺

(23) 小川町には中世以前に白山本宮の末社である()が鎮座していたといわれる。

- ① 志津原明神 ② 佐那武社 ③ 弓原社 ④ 小白山社

(24) 平安時代の北陸道の駅名は、927(延長5)年に成立した「延喜式」に記されており、安宅駅の次の駅は現在の手取川河口付近にあった()駅である。

- ① 朝倉 ② 比楽 ③ 田上 ④ 横山

(25) 鎌倉時代の1291(正応4)年、^{おどりねんぶつ} 踊念仏の時宗が今湊(現白山市湊町)で布教する様子は「()」や「^{いっぺんしょうにん え ことばでん}一遍上人絵詞伝」の伝記絵巻に描かれている。

- ① ^{けいざんじょうきん} 瑩山紹瑾絵伝
② ^{しんらんしょうにん} 親鸞聖人縁起絵巻
③ ^{れんにょしょうにん} 蓮如上人縁起絵
④ ^{ゆきょうしょうにん} 遊行上人縁起絵

(26) 白山比咩神社の「^{はくさんえんぎ}白山縁起」には、832(天長9)年に「三方の()を開いて、御山(白山)に参詣する」と書かれており、加賀・越前・美濃が白山信仰の拠点と解される。

- ① ^{ばんば} 馬場
② ^{しゆくば} 宿場
③ 茶屋
④ 水場

(27) 独立丘陵に築かれた()城は、「白山城」などと呼ばれた要塞で、山上の主郭に残る石垣は、加賀藩重臣の^{たかばたけさだよし}高 畠 定吉が築いたものである。

- ① 鳥越
② ^{ふとげ} 二曲
③ ^{ふねやま} 舟岡山
④ ^{つきはし} 槻橋

(28) 室町時代後期の1570(元亀元)年から約10年間、本願寺と織田信長が対立した「石山合戦」で、加賀の()衆も鳥越城を築き活躍した。

- ① 山内
② 尾山
③ 高尾
④ 波佐谷

(29) 1554(天文23)年に起きた白山の噴火は人々に神仏の怒りと信じられた。その原因が()にあると言われ、この宗派を禁止したということが、肥後国(熊本県)の古文書に記されている。

- ① 浄土宗
② 天台宗
③ 法華宗
④ ^{いっしやう} 一向宗

(30) 1600(慶長5)年の関ヶ原の戦いのあと、前田利長は加越能3国の太守となり()を松任城代とした。

- ① ^{すずき でわのかみ} 鈴木出羽守
② ^{みやけきつえん} 三宅橘園
③ ^{おおき どむねしげ} 大城戸宗重
④ ^{あかざよしいえ} 赤座吉家

(31) 北前船の往来で本吉湊^{もとよしみなと}でも()らの豪商が生まれ、加賀藩の財政を支えた。

- ① ^{きやとうえもん} 木屋藤右衛門
② ^{ぜいやごへえ} 銭屋五兵衛
③ ^{まるやでんしろう} 丸屋伝四郎
④ ^{みょうがんやじへえ} 明 靱屋治兵衛

(32) 1587(天正15)年、「松任4万石」の大名となったのは()である。

- ① ^{さくまもりまさ} 佐久間盛政
② ^{にわながしげ} 丹羽長重
③ ^{まえだとしい} 前田利家
④ ^{しばたかつい} 柴田勝家

(33) 俳人・加賀の千代女は1763(宝暦13)年、藩命により朝鮮使節への贈り物として代表作21句を掛け軸や()に書いた。

- ① ^{しきし} 色紙
② ^{たんざく} 短冊
③ ^{せんす} 扇子
④ ^{しょがく} 書額

(34) 江戸時代、松任では菜種油業において()の動力をいち早く導入したため、製油量を大幅に増やすことに成功し、その生産量は加賀藩最大であった。

- ① 風車
② 起電器
③ 磁気
④ ^{くわ} 水車

(35) 手取川ダムの建設に伴い水没した家屋は345戸で、最も多かった集落は円筒校舎のあった()である。

- ① 桑島
② 五味島
③ 深瀬
④ 釜谷

(36) 1872(明治5)年に県庁を金沢から美川に移したのは金沢県大参事(現在の知事にあたる)()である。

- ① ^{まえだよしやす} 前田慶寧
② ^{きりやまじゆんこう} 桐山 純孝
③ ^{いわむらたかとし} 岩村高俊
④ ^{うちだまさかぜ} 内田政風

(37) 大正から昭和にかけて手取川水系で発電事業を手掛けた県外勢の福沢桃介(福沢諭吉の女婿)には「()」という異名があった。

- ① 発電王
② 電力王
③ ^{でんき} 電気王
④ 水力王

(38) 1987(昭和62)年に廃線となった()跡地を利用して整備された手取キャニオンロードは、市内全域を周るサイクリイベント「^{ジオライドハクサン}GEORIDE HAKUSAN」のコースにもなっている。

- ① 鶴来線
② 白山線
③ ^{きんめい} 金名線
④ 鶴白線

(39) 鳥越の() 鉱山は、幕末の1850年頃に銅の採掘が始まったが、後に尾小屋^{おこや}鉱山に買収され、1962(昭和37)年に尾小屋鉱山の閉鎖とともに閉山となった。

- ① 大蔵 ② 宮田又 ③ 五十谷 ④ 中竜

(40) 1872(明治5)年、徳川幕府の天領であった白山ろく18カ村が石川県に帰属することになったが、それに貢献した()は、「郷土史研究の祖」とも呼ばれた。

- ① 小川幸三 ② 小堀定信 ③ 鈴木大拙 ④ 森田柿園

【3】 白山市の文化財や天然記念物、伝統文化に関する問題です。以下の文章を読んで、かっこ内に入る適切な語句を選びなさい。

(41) かつては白山最高峰の御前峰に祀られ、現在は白峰の()に安置されている銅造十一面観音立像は平安時代に造られたとされる国指定重要文化財である。

- ① 行動寺 ② 聖得寺 ③ 林西寺 ④ 真成寺

(42) 現存する白山関係の絵画では最古である、白山信仰に関する「絹本 著色 白山三者神像」は、中央に白山本宮を表す「白山妙理権現」、向かって右に()を表す「劔明神」、左に「三宮姫神」を配している。

- ① 乙劔神社 ② 守郷白山神社 ③ 筥笠中宮神社 ④ 金劔宮

(43) 白山比咩神社が所蔵し、中世日本に歴史書として特に貴重とされる重要文化財「()」の著者は公卿の北畠親房である。

- ① 太平記 ② 神皇正統記 ③ 愚管抄 ④ 吾妻鏡

(44) 白山ろく民俗資料館では、県内最大の木造民家であった「杉原家」や永住出作りを行っていた山小屋の「()」など、同様の豪雪地帯でも異なる家屋の造りを見学することができる。

- ① 小倉家 ② 織田家 ③ 山岸家 ④ 尾田家

(45) 泣き節や足踏みを特徴とする「尾口のでくまわし」は、白山ろくの東二口と()で古くから伝承されてきた人形芝居である。

- ① 深瀬 ② 尾添 ③ 瀬戸 ④ 木滑

(46) 石立町には、まん中に大きな石柱と東西南北に正確に4つの石柱が置かれた()という石川県指定文化財がある。

- ① 棒状塚 ② 石の木塚 ③ 石塚古墳 ④ 加賀ドルメン

(47) 日御子町にある、市指定史跡の六郎塚(六郎杉)は、平安時代の終わりごろ(1180年代)の源平合戦で、源義仲に従った加賀の武士()の墓という言い伝えがある。

- ① 林光明 ② 富樫家経 ③ 今城寺光平 ④ 倉光成澄

(48) 鶴来日詰町にある金劔宮の秋季祭「ほうらい祭り」は市の無形民俗文化財に指定されている古い伝承の祭礼で、神輿を先頭に、感謝を表わす巨大な「()」が2日間かけて町を練り歩く。

- ① 台車 ② 杵旗 ③ 造り物 ④ 曼荼羅

(49) 白山比咩神社の本殿は、江戸時代中期に加賀藩のお抱え大工らによって造営された、三間社流造・()の建築で、石川県の有形文化財に指定されている。

- ① 茅葺き ② 檜皮葺き ③ 板葺き ④ 銅板葺き

(50) 石川県は、古代から「加賀絹」を特産とした繊維産業が盛んで、伝統的な織物として本市でも「牛首紬」や「()」が国指定伝統工芸品に指定されている。

- ① 加賀繻 ② 加賀羽二重 ③ 平織絹 ④ 加賀御国染

【4】白山市ゆかりの人物に関する問題です。以下の文章を読んで、かっこ内に入る適切な語句を選びなさい。

(51) 江戸時代の終わり頃に徳丸村で生まれ、現在の白山市では最初の私立病院を開業するとともに、石川県で初めて解剖をした松江安見を顕彰する石碑が（ ）小学校の横にある。

- ① 松任 ② 東明 ③ 松南 ④ 燕城

(52) 松任駅前緑地広場に展示する D51 形蒸気機関車の横にあるブロンズ像は、北安田町明達寺に生まれ、清沢満之に師事し 1951（昭和 26）年に、東本願寺宗務総長となった「加賀三羽鳥」の一人（ ）である。

- ① 梶鳥敏 ② 松本白華 ③ 高光大船 ④ 藤原鉄乗

(53) 松任ふるさと館は、明治・大正・昭和初期に金融・米穀・倉庫業等で財を成した（ ）の私邸を 1982（昭和 57）年、当時の松任市が譲り受け公開したものである。

- ① 車屋又平衛 ② 吉田茂平 ③ 毛利義男 ④ 正見二郎

(54) 作家の深田久弥は、著書「（ ）」の中で「たしかに白山ほど、威あってしかも優しい姿の山は稀であろう」と書いている。

- ① わが愛する山々 ② 山岳遍歴 ③ 日本百名山 ④ 山があるから

(55) 女流俳人として知られた加賀の千代の辞世の句は、「月も見て 我は（ ）を かしく 哉」である。

- ① この世 ② あの世 ③ この身 ④ ゆく身

(56) 南画をよくした中町出身の蕪城秋雪は、（ ）を得意とした。

- ① 花鳥画 ② 山水画 ③ 人物画 ④ 歴史画

(57) 旧美川町出身で美川町文化賞受賞者の保谷美成は（ ）の技法をよくし、1939（昭和 14）年に金沢に転居して戦前の帝展、新文展、戦後の日展などで活躍した。

- ① 蒔絵 ② 沈金 ③ 漆絵 ④ 螺鈿

(58) 加賀藩の年寄衆・前田土佐守家で家老を務めた矢田四如軒は、晩年に「（ ）」を著した。

- ① 鶴来邨領十景記行 ② 美川邨領十景記行

- ③ 吉野邨領十景記行 ④ 松任邨領十景記行

(59) 2022（令和 4）年に国の登録有形文化財に登録された呉竹文庫を創設した（ ）は、1934（昭和 9）年の大洪水では村長として復興に尽力した。

- ① 熊田源太郎 ② 広海二三郎 ③ 久保彦兵衛 ④ 西村忠兵衛

(60) 美川の鍛冶職人の家に生まれた（ ）は世界恐慌後、農機具を改良して脱穀機などを製作販売し好評であった。

- ① 津田駒次郎 ② 武閑雲 ③ 廣瀬與吉 ④ 村山翠星

【5】白山市の暮らしや方言に関する問題です。以下の文章を読んで、かっこ内に入る適切な語句を選びなさい。

(61) 白峰地区には、江戸時代から 2、3 階建ての大きな木造家屋が多く、2 階部分に養蚕の作業をするため（ ）と呼ぶ広い空間がとられている。

- ① アマ ② セド ③ ナル ④ ジゲ

(62) 文化庁は伝統的な食文化の継承を推進する「100 年フード」として、美川のふぐの子糠漬、白峰堅豆腐、（ ）を認定している。

- ① あんころ餅 ② かましりこ ③ いがらまんじゅう ④ 栃餅

(63) 真宗王国たる加賀地方では、宗祖（ ）聖人の命日に、その遺徳をしのぶ報恩講行事が行われる。

- ① 道元 ② 親鸞 ③ 蓮如 ④ 日蓮

(64) 深瀬新町では、今も（ ）の木を薄く削ったヒンナを編み、田んぼや山仕事に欠かせない笠を作っている。

- ① 檜 ② 松 ③ 杉 ④ 樺

(65) 美川では、元は起舟の行事に唄われ、その後は結婚式など祝いの席で唄う（ ）という民謡が有名である。

- ① 酒盛り歌 ② まだら ③ 木遣り ④ 御酒

(66) 報恩講料理の一品である（ ）は、中宮に伝わる練り菓子的一种である。

- ① がんじき ② ねんぐわじ ③ いがらもち ④ かつちり豆

(67) 石川平野の農家を中心に嫁の里帰りを（ ）といい、正月や盆、祭りの後などにも行う。

- ① カクセツ ② 初産帰り ③ ヒートリヨメサ ④ チョウハイ

(68) 白峰の放棄相撲（天領相撲）は、かつて「牛首の大相撲」と呼ばれ、（ ）神社の秋祭りに同社の境内で行われる奉納相撲である。

- ① 八幡 ② 八坂 ③ 白山 ④ 山王

(69) 白山ろくでは、囲炉裏のことを火床が炉縁に近く、浅いことから（ ）と呼んでいた。

- ① ヒタキ ② ジビロ ③ ジロ ④ ヒドコ

(70) 毎年7月に横江で行われる農耕行事「虫送り」では、松明の行列の巡行後に宇佐八幡神社境内で（ ）大会が行われるしきたりである。

- ① 綱引き ② 花火 ③ 相撲 ④ 輪踊り

【6】 白山市の建造物、寺社、地理に関する問題です。以下の文章を読んで、かっこに入る適切な語句を選びなさい。

(71) 手取川支流の丸石谷にかかる落差約90メートルの（ ）は、冬季に滝の水が凍ってドーム状になることで知られる。

- ① 百四丈滝 ② ふくべの大滝 ③ わたがたき ④ 不動滝

(72) 吉野工芸の里の上にそそり立つ（ ）は、下吉野の山中に祇陀寺を開いた大智禪師が選んだとされる吉野十景の一つである。

- ① 笠山 ② 雲龍山 ③ 高倉山 ④ 岳峰

(73) 鶴来の浄土宗浄見山「一閑寺」には、江戸後期天保年間の再建に際して（ ）が凝灰岩の岩山に刻まれて祀られた石仏があり、その高さは北陸最大である。

- ① 不動明王 ② 阿弥陀如来 ③ 地藏菩薩 ④ 本地如意輪

(74) 「GI白山」は日本酒（清酒）として日本で最初に地理的表示（GI）を指定された。さらに2025（令和7）年より、地元で生産された原料にこだわり、米および米こうじに白山市内において収穫された醸造用玄米のみを用いたものを「（ ）」と位置付けている。

- ① 醸す白山 ② 潤す白山 ③ 白山の豊 ④ 白山の恵

(75) 松任城址公園は、2007（平成19）年に「（ ）公園」の名称を変更したもので、かつての公園名は、江戸末期に若宮八幡宮の仮の社が置かれていたことによる。

- ① おたや ② かりみや ③ わかみや ④ おかりや

(76) 昭和初期に選定された鶴来八景は四季ごとに2景ずつあり、「白山路桜花」や「不動滝氷柱」「天狗橋（ ）」などがある。

- ① 夕景 ② 落雁 ③ 朝霧 ④ 納涼

(77) 瀬戸野と木滑新を結ぶ濁澄橋にごりすみばしの名称は、手取川と尾添川が合流するところから付けられたとされ、古くは木滑新側に加賀藩の()が置かれた。

- ① 出城 ② 井戸 ③ 番所 ④ 硝煙小屋

(78) 市内最大級の木造建築である鶴来別院は()派に属する。

- ① 真宗大谷 ② 浄土真宗本願寺 ③ 真宗高田 ④ 真宗佛光寺

(79) 三ツ屋野町の鎮守である八幡社の秋祭りには、市指定無形民俗文化財の獅子舞と、赤い異形の()がみどころである。

- ① 天狗 ② 弥彦ばば ③ ニワカ ④ なまはげ

(80) 兵庫県の舞子の浜を彷彿ほうふつさせる小舞子海岸は、1996(平成8)年に「日本の()百選」に選ばれた。

- ① 浜辺 ② 水際 ③ 砂丘 ④ 渚

【7】 白山市の行政や産業、特産物などに関する問題です。以下の文章を読んで、かっこ内に入る適切な語句を選びなさい。

(81) 鳥越城跡の国史跡指定40周年と白山市制20周年を記念し2025(令和7)年9月、「第32回全国山城サミット白山大会」が2日間にわたり市内各所で開かれ、県内外から訪れた多くの愛好家たちがパネル討議やフェスタ、エクスカッションなどを通じ「()ノ持タル国」の歴史を感じ取った。

- ① 一揆いっき ② 民たみ ③ 百姓ひやくしやう ④ 念仏ねんぶつ

(82) 白山市は国際理解を深め、多文化共生の意識を醸成し、ひいては世界平和に貢献するため、親善友好都市として海外では、ボストン、ラウンハイム、溧陽りつやう、コロンビア、()などと交流している。

- ① ペンリス ② バッファロー ③ グラスゴー ④ 南京

(83) 2025(令和7)年3月に策定された「第2次白山市教育振興基本計画」では「()・食育・読育」を「はくさん3育」として位置付け、白山市における教育の重点として推進する。

- ① 人育ひといく ② 書育かきいく ③ 話育わいく ④ ジオ育いく

(84) 白山手取川漁業協同組合は、市内の清流で生まれた天然アユ「白山()鮎あゆ」を2025(令和7)年9月にブランド化し、市内外の飲食店などへの販路拡大を目指している。

- ① きときと ② きく ③ ひめ ④ てどり

(85) 2027(令和9)年度、市は白山手取川ユネスコ世界ジオパーク専用の発信・体験拠点を()の地にオープンする予定で整備を進めている。

- ① 吉野工芸の里 ② ミントレイノ
③ 石川ルーツ交流館 ④ 白山まるごと体験村

(86) 小説、実用書、絵本、紙芝居など約2,000点の資料を載せ、市内16カ所を巡回している、市の移動図書館の愛称は「()号」である。

- ① うきうき ② いきいき ③ のびのび ④ どきどき

(87) 市の「()賞」は、明治時代に桑島で植物の化石を発見し日本の地質学に大きく貢献したドイツ人地理学者の名前を冠した賞で、2025(令和7)年度は手取川の石についての研究結果が最優秀賞であった。

- ① ガイラー ② モース ③ ライン ④ ライト

(88) トレインパーク白山に展示されている新幹線の()「ドクターイエロー」(T3編成)の車両内部が2025(令和7)年12月に初めて公開され、競争率12倍の抽選で選ばれた鉄道ファンらが普段立ち入れない運転席からの眺めなどを楽しんだ。

- ① 運搬車両 ② 解体車両 ③ 見学車両 ④ 点検車両

(89) 2025（令和7）年、「いいとこ白山あさがおマラソン」と（ ）は石川県の魅力を発信し、県内外から多くの誘客を図るため相互協力に関する協定を締結した。

- ① 金沢マラソン ② ツール・ド・のと
③ PFU ブルーキャッツ石川かほく ④ ツエーゲン金沢

(90) 2018（平成30）年4月にオープンした新幹線の等身大パネルがある道の駅「（ ）」の来場者が2025（令和7）年11月末に300万人に達し、記念セレモニーが行われた。

- ① めぐみ白山 ② しらやまさん ③ 一向一揆の里 ④ 瀬女

(91) 市内に整備されている17カ所の工業団地の中で、先端産業や大学の研究施設を特色にしているのは（ ）である。

- ① 旭工業団地 ② 松任フロンティアパーク
③ 石川ソフトリサーチパーク ④ 石川工業団地

(92) 市は、市内に在来線車両工場の金沢総合車両所松任本所があったことや、北陸鉄道石川線の鶴来車輛工場、北陸新幹線の白山総合車両所があることから「（ ）のまち」としてPRしている。

- ① 車両所 ② 線路 ③ 鉄道 ④ 電車

(93)（ ）は、白山山頂周辺の高山帯や亜高山帯などを「核心地域」、それを取り囲む広大なブナ林などを「緩衝地域」、その周りに広がる山村などを「移行地域」として設定している。

- ① 白山ユニセフエコパーク ② 白山ユネスコエコパーク
③ 白山環境保全地域 ④ 白山自然保護地域

(94) 2026（令和8）年3月、市は有機農業の生産から消費までの一貫した取り組みを地域ぐるみで進める「（ ）ビレッジ宣言」を行う。

- ① オーガニック ② グリーン ③ ボタニカル ④ アグリ

(95)（ ）は市の魅力的な製品の消費拡大や流通促進を目的とした白山市農林水産ブランドの品目の一つである。

- ① ナス ② ブロッコリー ③ ダイコン ④ タマネギ

(96) 2025（令和7）年、市は窓口の申請を迅速に行うために、マイナンバーカードを利用して申請書等を作成する（ ）を本庁舎に設置した。

- ① 書かない窓口 ② 速い窓口 ③ デジタル窓口 ④ マイナンバー窓口

(97) 2026（令和8）年は（ ）年に1回行われる白山手取川ユネスコ世界ジオパークの再認定審査の年となる。

- ① 2 ② 3 ③ 4 ④ 5

(98) 毎月第3日曜日は「（ ）の日」であり、白山市民は市内6つの文化施設に無料で入館できる。

- ① 鑑賞 ② 教養 ③ 家庭 ④ 歴史

(99) 2025（令和7）年4月から市民温泉において、毎月（ ）土曜日に中学生以上が200円で利用できる「市民温泉優待デー」が新しく始まった。

- ① 第1 ② 第2 ③ 第3 ④ 第4

(100) 2027（令和9）年、白山白川郷ホワイトロードは開通（ ）周年を迎える。

- ① 45 ② 50 ③ 55 ④ 60